

1月はロータリー理解推進月間です

THE WEEKLY REPORT

R I 第 2820 地区

# 水海道ロータリークラブ

2009-2010年度 テーマ

増やそう 新しい仲間たち！  
開こう 未来への扉を！



2009-2010 年度 R I 会長  
ジョン・ケニー

次回例会予定 2月3日 外部卓話  
2月10日 会員卓話

VOL. 47 No. 24 (通算No. 2226)

2010年1月27日(水)例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

外部卓話 神達 岳志様



「祈願、新しい年の無病息災」

写真提供:石塚克己会員

2009 - 2010年度

会長 田 上 秀 雄

幹事 武 藤 康 之

創立 1963年9月25日

例 会 場 ・ 例 会 日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30 0297-22-1251

事 務 所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

## 1月はロータリー理解推進月間です

### THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.47 No.23 (No.2225) 1月13日(水)晴れ (司会 斎藤広巳委員長)

本例会での主な事項

会長挨拶

会員卓話 山牟田 博会員

## ピジター

米山奨学生 金 憲周さん



小島富雄カウンセラーより報告

米山奨学生の金 憲周さんが、今年の12月結婚しました。

おめでとうございます。



幹事報告 武藤康之幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

会長挨拶 田上秀雄会長



皆さん、こんにちは。米山奨学生の金さん、ようこそいらっしゃいました。会員一同心よりご歓迎申し上げます。

さて、本日は成人式についてお話したいと思います。

日本では、昔から成人式は、数多い通過儀礼の中でもとりわけ重視されてきました。奈良時代から平安時代は、男子は12歳～16歳ごろになると幼年時代の髪形を変え、冠を着ける「元服式(げんぷくしき)」、女子は12歳～14歳ごろに袴を着せる「裳着(もぎ)」という儀式を行いました。江戸時代になると、男子は髪型を「月代(さかやき)」に剃り、幼名に替え大人の名を名乗り、外形的にも大人の仲間入りをしたことを示しました。女子は鬢を削ぐ「鬢曾木(びんそぎ)」や髪を結い上げる「髪上げの儀」が成人式を意味するようになりました。世界にもいろいろな成人になるための儀式があります。パプアニューギニアでは、ほとんど道具も使わずサメを捕まえなければ一人前の男として認められませんでした。中央アフリカでは巨大な木に登りハチミツを集める試練が課せられました。マサイ族の若者は、大体14、5歳ごろになると生きたヤギを抱え、一人でサバンナに出かけ、ヤギを餌にライオンを仕留めなければ成人として認められず、集落の会議にも参加が許されませんでした。バヌアツの島では、足首を蔓で縛って高い木製の塔から飛び降りる「バンジージャンプ」で勇気を試されます。このジャンプは日本でも有名になり現在各地で行われています。現在の日本では、新しく大人の仲間入りをする若者を祝う成人式が、毎年1月の第2月曜に行われます。満二十歳になるとお酒やタバコが認められ、社会的にも成人として選挙権が与えられ、男女とも自由意志による結婚が認められます。これからの世界を担う、新成人の方々にもロータリークラブの活動を広め、ご賛同いただけるよう努力してまいりたいと思います。

# 1月はロータリー理解推進月間です

## THE WEEKLY REPORT

### 会員卓話 「私の体験」 山牟田 博会員



こんにちは。今日は私が経験した個人保証人の話をさせていただきます。私の仕事は自動販売機のおペレーションを全般に行っております。企業や官公庁、レジャー施設等に自販機を置かせていただき、その中身を販売する事業ですが、今から20数年前にある事業が商店街から郊外に出店される盛んな時代があり、それと同時に社会問題として戦後補償や慰安婦問題等がマスコミ等で報道されていまして、今からお話させていただく当社のお客さんも郊外に出店され、それを1年足らずで売却、それを元金にまた出店、譲渡

益が出ていたにもかかわらず税金を納めていなかったところに、税務署から査察が入り数億円の税が課税されました。ところがバブルもはじけてしまい国税も払わないうちに運営も厳しい状況となり、私に保証人になってもらいたいと電話が毎日のように掛かってきました。土地を担保にすることで、私も判子を押してしまいました。順調に返済も進んでいましたが、残高が半分くらいになった頃、返済が厳しいという事で、条件を変更したいから判子を押して欲しいとの要望があり、2度目の判子を押しました。それから暫くして銀行から返済が滞っている旨の通知が届き、様子を見に行ったらお客様も数名しかいない状況で愕然としました。それからというもの散々なものです。会社倒産、最寄りの裁判所から土地建物の売却の通知が届き、二番抵当の為、私への権利は無いとの事を知らされました。債権が銀行から他に移り、最終的には民間の会社が入札することが決まり、その会社の人と会うことになりました。その中でこのくらいまでなら払うが、それ以上は出さないと話し、20日くらい経ってからそれで手を打ちたいとの連絡がありました。20数年間にも亘りとても長かった不安や心労の日々からやっと解消されました。今、子供達には何があっても保証人にはなるな！と言い聞かせております。

最後に、私の経験を通じて、事業主さんの住まいを担保に取る、もしくは事業主の周りの方から保証人を取るなどの時代が早く無くなる事を願っております。こうしたことにより、事業主が路頭に迷うこととなり、結果自殺者が増える一方です。現在では社会問題になっております。今後、この融資制度のあり方を見直す時代に来ているのではないかと私は思います。ご清聴有難うございました。

### 出席報告 (福田克比古委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
53名	39名	14名	0名	14名	100.00%

### ニコニコボックス 瀬戸隆海委員長

入金計 ￥24,000 累計 ￥1,388,000

金さん、ようこそ。後期も宜しく。 田上会員

米山奨学生 金さん、後期も宜しく。 小島会員

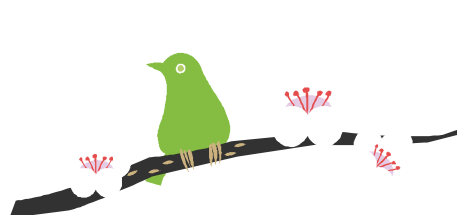
卓話させていただきます。 山牟田会員

山牟田さん、頑張ってください！ 山野井会員

年の初めの例会欠席致しました。本年も出席委員会宜しくお願いします。 福田会員

会長に襟を正して頂きました。ゴルフでベストスコア(35・32)を出しました。 齋藤会員

その他 横山・鈴木(勝) 各会員





1月はロータリー理解推進月間です

THE WEEKLY REPORT

# 新年会写真集

平成22年1月20日(水)於: 糀屋



1月はロータリー理解推進月間です  
THE WEEKLY REPORT



「出席者の中で撮影漏れがありましたら、お許しください」

IT 委員会 石塚克己



## 1月はロータリー理解推進月間です

### THE WEEKLY REPORT

#### ロータリーの折り返し点



親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、

1月はローマ人たちが、双面神ヤヌス(Janus)に関連づけた月です。ヤヌスは(頭の前と後ろに顔をもち)一つの顔で過ぎ去った年を振り返り、もう一つの顔で来るべき年を期待とともに見つめています。

#### これまでの成果を振り返る

ロータリーでは、1月は年度の折り返し点に当たり、私たち全員が過去と未来の双方を見つめるときです。上期の成果を確認し、自分たちが設定した目標を再検討しながら、どれくらいその目標を達成できたかを評価するときでもあります。私たちの進捗状況や課題を真摯に見つめ、私たちが計画した奉仕活動を成功裏に成し遂げるために必要なステップを考え直すときなのです。

皆さんがこれまでの6か月間に達成したことは、自信をもてるものだとは私は確信しています。私は各地を訪問する旅の中で、ロータリアンたちがそうしようと決意したとき、成し遂げてきた事例をいくつも見てきました。

皆さんは、安全やきれいな水が不足している人々にはそれらをもたらし、食料や簡易住宅が必要な人々にはそれを供給し、読み書きができない人々には教育を支援してきました。皆さんは奉仕の理想を、親睦、友情、それに高い倫理規範という背景のもとに推し進めてきました。

#### 「時」を無駄にしない

ロータリアンたちは単にこの間だけでなく、これから先の数年間、あるいは数十年間にわたってその進路を決定するための変革ができるのです。これが私たちの優れた特典です。このことは同時に、ロータリアンとして、つまり、想像を絶するような状態の中で暮らしている人々に救いの手を差し伸べることができるという恵まれた地位にいる、社会を思いやる会員としての義務でもあります。

このように、これからの数か月間に成し遂げなければならないことは山ほどあります。最も貴重で有用なものの「時間」を無駄にしないでください。

#### 自分が選んだ道

私たちは皆、奉仕団体で奉仕するボランティアです。私たちは、誰一人、ロータリアンになるように強制されたわけではありません。一人ひとりが会員になる道を選び、そして選ばれたのです。毎年、毎日、自分が始めた仕事を続けることを選び、超我の奉仕を実行し続ける道を選んだのです。平坦な道ばかりではありませんが、私にはそれが正しいことだとわかります。

私はこの機会を、皆さんがロータリーの奉仕活動のためにしてくださったこと、現在してくださっていること、そして、将来もし続けてくださるであろう奉仕活動に感謝する機会としてとらえたいと願っています。

「ロータリーの未来はあなたの手の中に The Future of Rotary Is in Your Hands」

JOHN KENNY

PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL

会報委員会

染谷正美委員長

秋田政夫副委員長

上野 博委員